


東京植物検疫協会は国際植物防疫年 2020 のオフィシャルサポーターです。  国際植物防疫年 2020

東京港における植物の輸入状況（令和元年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、令和元年も 22 年連続で国内最多のコンテナ貨物を取扱い、国民生活と産業活動を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

令和元年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 198.8 万ト（前年比 91.3%）と減少し、前年で 3 年連続増加は途切れてしまった。輸入植物の生産国は 98 の国と地域に及び、重量ベースでみると、全体では米国が第一位で約 4 割を占めている。
栽植用植物：前年比 108.5%と増加した。草花類など 5 カ国から輸入された。主な増加品目は、中国産ヒカゲノカズラ属苗 2,347 千個（同 101.1%）、ベトナム産ファレノプシス属苗 553 千個（同 104.3%）が定期的に輸入された。
栽植用球根：前年比 99.1%と減少した。主な種類は、ユリ 1,887 万球（同 101.3%）、スイセン 50 万球（同 100.0%）、アマリリス 10 万球（同 89.0%）であった。6 カ国から輸入され、オランダ産が約 7 割を占めている。

栽植用種子：前年比 102.9%と増加した。飼料・緑肥作物、野菜などが主で 24 カ国から輸入され、その半数以上が米国産である。全体の約 5 割を占める飼料・緑肥作物は 1,728 ト（同 99.1%）と減少した。

切花、切葉、切枝：前年比 95.9%と減少した。キク 8,132 万本（同 110.9%）、カーネーション 1,746 万本（同 94.3%）、ヒサカキ 10,418 万本（同 93.9%）など、多種類の切花、切葉類が 8 カ国から輸入された。全体の 6 割以上を占める中国産は 18,083 万本（同 97.3%）と減少した。

果実：前年比 94.4%と減少した。37 カ国から輸入され、全体の半分以上を占めるバナナは 258,761 ト（同 103.9%）と増加した。専用船積フィリピン産バナナ 240,071 ト（同 108.0%）、同国産パインアップル 23,411 ト（同 80.6%）、ニュージーランド産キウイフルーツ 27,469 ト（95.5%）であった。前年コンテナ最多本数のアボカドは 1,052 本

（-797 本）で 19,612 ト（同 57.6%）と減少した。柑橘類のグレープフルーツ 21,725 ト（同 78.2%）、レモン 20,329 ト（同 84.4%）と共に減少し、コンテナ最多本数 1,559 本のオレンジが 20,943 ト（同 101.8%）と増加した。

野菜：前年比 80.3%と減少した。33 カ国から輸入され、コンテナ本数 15,750 本（-4,403 本）と大きく減少し、過去 10 年で最も少ない本数となった。約 8 割を占める中国産は 258,839 ト（同 85.2%）と減少した。前年 2 位であった米国産は 12,721 ト（同 52.8%）と減少し、ニュージーランド産に抜かれ 3 位に後退した。野菜全体の 4 割を占めるタマネギは 126,454 ト（同 96.4%）と減少し、他にニンジン 35,758 ト（同 76.8%）、ナガネギ 30,740 ト（同 93.7%）、キャベツ 13,992 ト（同 36.3%）、凍結野菜 32,209 ト（同 93.1%）と主要品目はすべて減少した。

穀類：前年比 88.2%と減少した。28 カ国から輸入され、5 割以上が専用船積コムギで 190,618 ト（同 90.3%）と減少した。モルトは 12 カ国から輸入され 110,275 ト（同 81.6%）、コンテナ本数は 5,197 本と 1,033 本減少した。

豆類：前年比 91.6%と減少した。27 カ国から輸入され、9 割以上がダイズで 7 カ国から輸入され 164,696 ト（同 92.3%）、コンテナ本数 8,164 本と 666 本減少した。

嗜好香辛・葉染料・その他食品：前年比 105.2%と増加した。74 カ国から輸入され、アーモンド 19,560 ト（同 106.1%）、タバコ 12,311 ト（同 115.3%）であった。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 95.9%と減少した。45 カ国から輸入され、乾燥牧草が 488,090 ト（同 94.9%）と減少した。主要産地別コンテナ本数はアメリカ 16,925 本（-609 本）、カナダ 2,995 本（-476 本）であった。

木材：前年比 14.6%と減少した。米国、スリナム、ボリビアの 3 カ国から 98m³輸入された。専用船での輸入は平成 21 年以降途絶えている。（業務グループ・青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分 類 単 位 年 次	栽 植 用 植 物	栽 植 用 球 根	栽 植 用 種 子	切 切 切 花 葉 枝	果 実	野 菜	穀 類	豆 類	嗜 薬 そ 好 料 の 香 ・ 他 辛 染 食 料 料 品	油 肥 そ 料 の ・ 他 飼 雑 料 料 品	木 材	* 合 計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m ³)	(千トン)
令和元年	3,262	21,177	3.5	296,606	468	309	359	175	61	612	98	1,988
平成30年	3,006	21,366	3.4	309,409	496	385	407	191	58	638	668	2,178
令和/平成30年比(%)	108.5%	99.1%	102.9%	95.9%	94.4%	80.3%	88.2%	91.6%	105.2%	95.9%	14.6%	91.3%

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

植物検疫の対象とならない植物について

当協会には「この品物は、輸入植物検疫の対象になりますか?」と、問い合わせが多く寄せられています。

輸入植物検疫では、病害虫が付着する可能性のある植物はすべて検査の対象となりますが、家具や製茶のように高度に加工されたもの、小売用の容器に密閉されている乾燥香辛料など、病害虫が付着するおそれがないものは輸入検査の対象になりません。

日本の植物検疫制度では検疫の対象とならない植物を以下のとおり例示していますが、この例示以外のものについても、加熱処理などの加工工程・容器包装などに関する情報や現物を確認して、病害虫の付着のおそれがないと判断されるものについては、輸入検査の対象に該当しない場合があります。輸入しようとする植物が植物検疫の対象となるかどうか不明な場合には、その植物の加工工程・容器包装などに関する情報を添えて、最寄りの植物防疫所、又は当協会にご相談くださいますようお願い致します。

検疫の対象とならない植物（輸入植物検疫規程第6条）

- ・ 製材、防腐木材、木工品、竹工品及び家具什器などの加工品
- ・ 木材こん包材（国際基準により処理されたもの）
- ・ 籐及びコルク
- ・ 麻袋、綿、綿布、へちま製品、紙、ひも、綱などの繊維製品及び粗繊維（原綿を含む。）であって植物の包装材料として使用されたことのないもの
- ・ 製茶、ホップの乾花及び乾たけのこ
- ・ 発酵処理されたバニラビーン
- ・ 亜硫酸、アルコール、酢酸、砂糖、塩などにつけられた植物
- ・ あんず、いちじく、かき、キウイフルーツ、すもも、なし、なつめ、なつめやし、パインアップル、バナナ、パパイヤ、ぶどう、マンゴウ、もも及びりゅうがんの乾果
- ・ ココヤシの内果皮を粒状にしたもの
- ・ 乾燥した香辛料であって小売用の容器に密封されているもの

植物検査検査申請情報の論理チェック機能を追加

NACCSにおいて輸入植物検疫の申請を行う際、申請品目が①輸入禁止品、②条件付き品目、③検疫証明書に所定の

追記が必要、④輸入後隔離検疫が必要、など申請端末画面や帳票に注意が表示される機能が追加された（3月25日から運用開始）。

国際植物防疫年オフィシャルサポーターに認定

国連食糧農業機関（FAO）によれば植物病害虫に被害により世界の食料生産の20～40%がロスしているとされています。このため国連は、飢餓、貧困、環境、経済発展等の課題に取り組むためには、植物病害虫のまん延を防止することが重要であるとして、令和2（2020年）を「国際植物防疫年 2020」（International Year of Plant Health 2020:IYPH2020）と定めました。これを受け農林水産省は植物病害虫の侵入・まん延防止の重要性を広く知ってもらうために、企業、団体等を対象に「国際植物防疫年 2020 オフィシャルサポーター」を募集しました。オフィシャルサポーターはこの目的を達成するために①企業等のホームページ（HP）、SNS、広報誌等への情報掲載、②各種イベント、セミナー等で紹介などを実施することとされています。当協会は輸入植物検疫関連業務を行っていることから、農林水産省に応募した結果、1月21日付けでオフィシャルサポーターに認定されました。また、それに併せて農林水産省のHPに当協会が掲載されています。当協会としてはHP、「東京植検だより」などにより適時に植物検疫に関する情報を提供していきます。

国際植物防疫年 2020 のイベントなど詳細については農林水産省の以下のホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/iyp/h.html>（農水省のHP）

国際植物防疫年 2020 のロゴ**国際植物防疫年**

2020

東京植物検疫協会事務局人事

○4月1日付

業務グループ課長代理（総合調整） 西村 洋一
（業務グループ課長代理）
業務グループ課長代理（総合調整） 人見 哲也
（業務グループ課長代理）
業務グループ主任 小林 優修（業務グループ）
総務グループ主任 若月 映子（総務グループ）

会 員 ・ 役 員 の 異 動（令和2年2月1日～令和2年3月31日）

☆入会会員

3月1日 株 エ ー ワ ー ル ド [商社] 〒260-0013 千葉市中央区中央1-7-10 ☎ 043 (304) 5592
3月1日 菅 沼 運 輸 株 [運輸] 〒143-0016 大田区大森北2-3-16 ☎ 03 (6450) 0501

☆退会会員

3月31日 株M&U、株エル・ワイ産業、大阪中央青果(株)、ダーボン・オーガニック・ジャパン(株)、フローラルファクトリー(株)

👁️ タイム eye 📷

業務グループ オランダ産アジサイの苗木初輸入

2月7日、大井埠頭に入港した本船“ONE HAMBRUG”号にてオランダ産アジサイ苗木が東京港に初輸入された。

植物防疫統計による2017～2019年のアジサイ苗木の全産地全国輸入量は155,152本→172,145本→193,836本と年約10%程度の増加傾向である。空輸での輸入が70%以上であるが、輸入量の増加とともに海上コンテナでの輸入も増加し、90%以上がオランダ産である。

今回輸入されたものは西洋アジサイ(学名: *Hydrangea macrophylla*)というアジサイ科アジサイ属の苗木で落葉低木の一種。原種は日本で密集した両性花の周囲に額縁のように花が咲くガクアジサイとされる。アジサイは古くから日本に自生していたらしく、7世紀後半頃に編纂された日本最古の和歌集である万葉集にアジサイの短歌が二首読まれ初めて文献にその名が出た。その後いくつかの短歌などにアジサイは読まれたが目立った花ではなかった。江戸時代になると梅雨時に咲く花が少ないことから庭園で栽培されるようになり、アジサイの栽培の技法が広く伝えられ、松尾芭蕉が俳句に読み、尾形光琳、葛飾北斎が絵の題材として描くようになり時代を代表する文化人にとりあげられるようになった。西洋アジサイは18世紀頃に日本から中国に渡ったアジサイが中国から英国に渡り、フランスで植樹され広く品種改良が行われ欧州各地に広まっていった。今日よく街で見かけるのは欧州から逆輸入された西洋アジサイの品種が多い。



アジサイの花は土壌の性質により花の色彩が変わるのも特徴である。土壌のPHが酸性質なら青色、アルカリ性質の土壌だと赤色の花が咲く。日本の土壌はPHが酸性質であることから青い花が多いが、欧州の土壌はアルカリ性質の土壌であったため赤い花を咲かせたことから『東洋のバラ』と評された。現在でも品種改良が進み、アジサイの品種は約2,000種あるとされている。中には手鞠上に大きな花を咲かせる品種やカラーのグラデーション豊かな品種などが開発され、カーネーションやバラとともに贈答品として人気が高まっている。

今回輸入されたアジサイも約2か月間、国内の契約ハウスで育成し、一部は母の日の贈答品として出荷される予定である。梅雨に街や公園を彩るアジサイの花ではあるが、母の日に色彩鮮やかな手鞠咲きのアジサイの花を贈り彩ってはいかがだろうか。(高木 光邦)

業務グループ フロリダ産マンダリン生果実初輸入

3月10日、大井埠頭に入港した本船“MOL CHARISMA”号で米国フロリダ州産マンダリン生果実が東京港に初輸入され、検査結果は無事合格となった。同州産みかん属植物(ライム及びレモンを除く)は、カリブミバエ種群が一部の地域で発生しているため、注意が必要となっている。植物検疫証明書には、カリブミバエが発生していない地域として、輸出国の政府機関が指定する地域において生産されることや、輸出国の政府機関が指定する処理施設において、カリブミバエを殺虫するために適切と認められる方法による処理が行われることのいずれかの措置が行われ、かつ、カリブミバエに侵されていないことが特記されていることが必須となっている。



マンダリンの原産地はインドのアッサム地方で、交雑などで変化しながら世界各地に伝播したものと考えられている。中国経由で日本に伝わったものからウンシュウミカン、一方中東を経て地中海沿岸に伝わったものから地中海マンダリンやクレメンティン、さらにモロッコからフロリダに伝わったものからタンジェリンといった栽培種が派生している。

同州産マンダリンは、皮が薄くて剥きやすく、糖度が高く酸味が弱いのが特徴である。鮮やかなオレンジ色の果肉は、甘みが強く、ジューシーな味わいを満喫できる。また、他の柑橘類より果汁が濃厚で、みかんの果汁が凝縮されているような味がする。ビタミンCが豊富に含まれており、風邪予防や美容効果によいとされ、クエン酸も多く疲労回復の効果もある。

現在、日本に輸入されているマンダリンの多くはオーストラリア産だが、今回の初輸入を皮切りに、フロリダ産が消費者に受け入れられ浸透していくのか、今後の動向に注目したい。(阿部 将之)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月 - 2月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	11	360,575	208,200	0	0	360,575	208,200
栽植用球根類	個	12	1,309,896	0	0	0	1,309,896	0
アマリリス	"	7	64,296	0	0	0	64,296	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	5	1,245,600	0	0	0	1,245,600	0
栽植用種子	kg	76	717,854	522	0	0	717,854	522
草花・樹木	"	0	1,000	522	0	0	1,000	522
野菜	"	34	135,280	0	0	0	135,280	0
普通・特用作物	"	23	283,243	0	0	0	283,243	0
牧草・芝草	"	17	282,250	0	0	0	282,250	0
切花、切葉、切枝	個	233	36,020,920	1,370,140	0	0	36,020,920	1,370,140
アンスリウム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	24	844,630	33,800	0	0	844,630	33,800
キク	"	102	9,173,958	90,120	0	0	9,173,958	90,120
シダ(レザーフアン)	"	20	3,418,200	0	0	0	3,418,200	0
果実	kg	1,528	26,477,250	1,004,752	41,933,874	33,659,589	68,411,124	34,664,341
オレンジ	"	278	4,691,084	3,674	0	0	4,691,084	3,674
グレープフルーツ	"	192	3,970,005	57,104	0	0	3,970,005	57,104
タンジェロ(ミネオラ)	"	100	1,444,729	0	0	0	1,444,729	0
レモン	"	29	599,304	0	0	0	599,304	0
パイナップル	"	46	866,652	192,785	4,151,227	3,087,476	5,017,879	3,280,261
バナナ	"	153	2,649,956	307,202	37,781,547	30,572,113	40,431,503	30,879,315
マンゴウ	"	8	137,592	0	0	0	137,592	0
キーウイフルーツ	"	64	1,036,582	0	0	0	1,036,582	0
ブドウ	"	191	3,115,214	0	0	0	3,115,214	0
野菜	kg	2,506	48,412,750	440,060	0	0	48,412,750	440,060
カボチャ	"	200	4,729,504	384,000	0	0	4,729,504	384,000
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	2	13,500	0	0	0	13,500	0
パプリカ	"	23	228,657	4,950	0	0	228,657	4,950
メロン(ハミウリ含む)	"	7	126,816	0	0	0	126,816	0
キャベツ	"	62	1,743,465	0	0	0	1,743,465	0
セロリ	"	32	492,371	29,030	0	0	492,371	29,030
ナガネギ	"	328	4,423,673	0	0	0	4,423,673	0
ニンニクの芽	"	16	266,139	0	0	0	266,139	0
ハクサイ	"	3	24,450	0	0	0	24,450	0
ブロッコリー	"	42	423,851	0	0	0	423,851	0
レタス	"	184	2,075,625	10,080	0	0	2,075,625	10,080
タマネギ	"	732	17,671,564	0	0	0	17,671,564	0
ニンニク	"	109	1,776,797	0	0	0	1,776,797	0
アスパラガス	"	3	13,365	0	0	0	13,365	0
ゴボウ	"	47	1,227,512	0	0	0	1,227,512	0
サトイモ	"	9	182,820	0	0	0	182,820	0
ショウガ	"	85	1,984,238	0	0	0	1,984,238	0
ニンジン	"	201	5,276,460	0	0	0	5,276,460	0
こく類	kg	1,531	31,372,888	0	29,492,497	0	60,865,385	0
オオムギ	"	24	475,658	0	0	0	475,658	0
エンバク	"	57	1,233,095	0	0	0	1,233,095	0
コムギ	"	84	1,589,562	0	29,492,497	0	31,082,059	0
コメ	"	283	5,389,284	0	0	0	5,389,284	0
ソバ	"	42	849,906	0	0	0	849,906	0
トウモロコシ	"	89	1,655,610	0	0	0	1,655,610	0
モルト	"	937	19,929,453	0	0	0	19,929,453	0
まめ類	kg	1,032	20,886,776	0	0	0	20,886,776	0
エンドウ	"	3	64,000	0	0	0	64,000	0
ダイズ	"	958	19,459,351	0	0	0	19,459,351	0
ラッカセイ	"	38	832,595	0	0	0	832,595	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	699	10,819,871	0	500	0	10,820,371	0
カカオ	"	3	1,314	0	0	0	1,314	0
コーヒー	"	5	24,571	0	0	0	24,571	0
タバコ	"	106	1,884,038	0	0	0	1,884,038	0
アーモンド	"	221	3,691,262	0	0	0	3,691,262	0
クリ	"	3	31,040	0	0	0	31,040	0
クルミ	"	133	2,224,559	0	0	0	2,224,559	0
ポップコーン	"	57	1,147,700	0	0	0	1,147,700	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	4,597	104,064,403	0	0	0	104,064,403	0
乾燥牧草(ヘイ)	"	3,254	75,120,296	0	0	0	75,120,296	0
アニマルフィード	"	5	55,412	0	0	0	55,412	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	301	7,750,740	0	0	0	7,750,740	0
コーンコブミール	"	3	72,600	0	0	0	72,600	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	49	1,139,023	0	0	0	1,139,023	0
ビートパルプペレット	"	8	186,083	0	0	0	186,083	0
イネワラ	"	40	741,700	0	0	0	741,700	0
ココピート	"	107	1,927,516	0	0	0	1,927,516	0
ココヤシ園芸資材	"	63	1,370,972	0	0	0	1,370,972	0
ビートモス	"	294	6,452,413	0	0	0	6,452,413	0
ミズゴケ	"	11	23,503	0	0	0	23,503	0
タケ	"	15	265,334	0	0	0	265,334	0
木材	m³	0	0	0	0	0	0	0
** 総合計 **	kg	11,969	242,751,792	1,445,334	71,426,871	33,659,589	314,178,663	35,104,923
	個	256	37,691,391	1,578,340	0	0	37,691,391	1,578,340
	m³	0	0	0	0	0	0	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。